

台湾における東北PRイベント「日本東北遊楽日」の開催など 官民一体での東北プロモーションを実施しました

(一社)東北観光推進機構(以下、「東観推」という。)は、台湾・台北市において観光プロモーション事業を官民で連携して実施しました。

台湾市場における訪日旅行の需要の高まりや、東北への定期便・チャーター便の就航等を背景に、「日本東北遊楽日」は2日間で9.3万人を超える来場者数を記録しました。会場にはオープン前から長蛇の待機列ができ、会場も常に多くの来場者で賑わうなど熱気に満ちた2日間となりました。特に、現地インフルエンサーによるステージや、試飲コーナーでの東北の日本酒・ワイン・ウィスキーの体験が人気で、来場した多くの方に東北の魅力を印象付ける機会となりました。

本事業に合わせて、東北域内の自治体の首長や東北各県の商工会議所の会頭をはじめ300名を超える東北の官民関係者が現地へ渡航し、一体となってPRを実施しました。東観推では、今後も東北一体となったイベントの開催等、各種施策を通じ東北の魅力を発信していきます。

1 一般消費者向け東北PRイベント「日本東北遊楽日」～新・魅力再発見！～

- (1) 日時：2023年12月9日(土)・10日(日) 10:00~18:00(現地時間)
- (2) 会場：華山1914文化創意産業園區 東2A~2D館
- (3) 主催：(一社)東北観光推進機構
- (4) 出展団体：東北・新潟の自治体、DMO、民間企業、台湾現地航空会社・台湾現地旅行会社 計41団体(出展団体数は過去最大)
- (5) イベントコンセプト

「新しい魅力を再発見しよう!」というテーマで、東北の観光地や地域の情報について、新たな視点やアプローチで発信することで、台湾の一般消費者に東北の魅力をより広く知ってもらおう。

- (6) 来場者数 1日目(天候：晴れ)：44,859人
2日目(天候：晴れ)：48,281人 合計 93,140人



キービジュアル



2 現地旅行会社向け東北観光セミナー・商談会

台湾現地の旅行会社に対する東北の観光プレゼンテーションと、東北の自治体・民間事業者等と旅行会社による商談会を実施しました。セミナーでは説明の様子を写真で撮影する担当がいるなど、台湾側参加者が熱心に参加している様子があった他、商談会では約3時間にわたり東北・台湾双方の参加者が積極的な商談を行いました。当日は100社を超える現地旅行会社の参加があり、今後の東北への旅行商品の増加を効果的に促進する機会となりました。

(1) 日時：2023年12月8日(金) 14:00~17:45(現地時間)

(2) 会場：台北晶宴 民権館(地下1階 第二・六劇場)

(3) 商談会参加者：

台湾側 現地旅行会社等 計102社 134名

日本側 自治体、民間事業者等 計40団体 108名



3 現地航空会社訪問

東北の官民が一体となり、東北への直行便・チャーター便を就航しているエバー航空、スターラックス航空、タイガーエア台湾、チャイナエアライン(中華航空)の4社を訪問し、今後の路線拡大等について要請を行いました。東北路線については各社から集客状況が好調であるといった報告もあり、台湾から東北への送客について引き続き期待ができる結果となりました。



4 その他

台湾における官民連携による観光プロモーション事業は、次年度も同時期に実施予定です。

【お問い合わせ先】

(一社) 東北観光推進機構 高橋 弘樹、藤本 空
TEL:022-721-1291
FAX:022-721-1293
MAIL: suishin@tohokutourism.jp
写真等の提供依頼も承ります。